

当初予算の主な事業（抜粋）



新型コロナウイルスワクチン接種事業

[継続] 約5億1,700万円
追加接種(3回目)や5歳から11歳までの接種など、引き続き新型コロナワクチンの早期接種に向けて、全力で取り組みます。



地域産業支援事業

[新規] 1,500万円
ウィズコロナ・アフターコロナに対応できる地域産業形成のため、事業継続・雇用促進・販路開拓及び感染症対策の強化に関する独自の事業を推進します。



産婦健康診査事業

[新規] 約300万円
出産後間もない時期の産婦に対する健康診査の費用を助成し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備します。



公共施設トイレ環境改善事業

[新規] 6,700万円
ユニバーサルデザインの推進や新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、和式トイレの洋式化や自動水栓整備など、トイレの環境を改善します。



DX推進事業

[新規] 約1,900万円
「誰一人取り残さない人に優しいデジタル化」を目指すため、全庁が一体となりDX推進に取り組み、市民サービスの向上や行政事務の効率化を図ります。



書道パフォーマンス甲子園補助事業

[継続] 約1,600万円
記念すべき第15回大会にあたり、新たにシンボルマークの制作や会場デザインの変更、大会PR大使を任命するなど、更なる飛躍に向けて取り組みます。

ほかにも次のような事業を行います（抜粋）

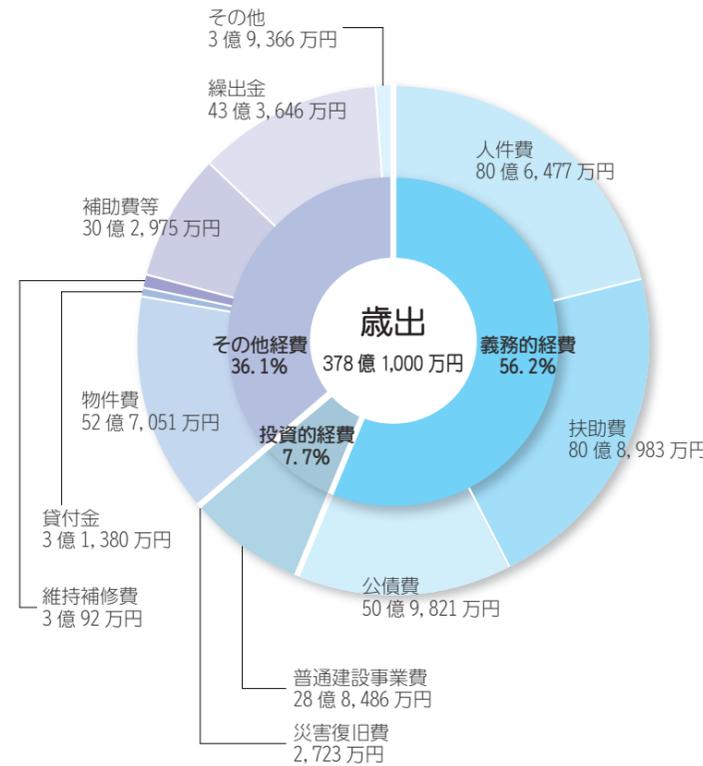
障がい福祉サービス事業	約16億5,400万円	北地区交流センター（仮称）整備事業	約8,600万円
クリーンセンター整備事業	約3億3,400万円	ごみ処理施設再編事業	約2,400万円
ふるさと納税推進事業	約2億4,000万円	防災マップ改訂事業	1,700万円
寒川グラウンド整備事業	約1億1,400万円	子育て環境充実事業	約300万円

第3期あつたかしこちゅ〜プロジェクト

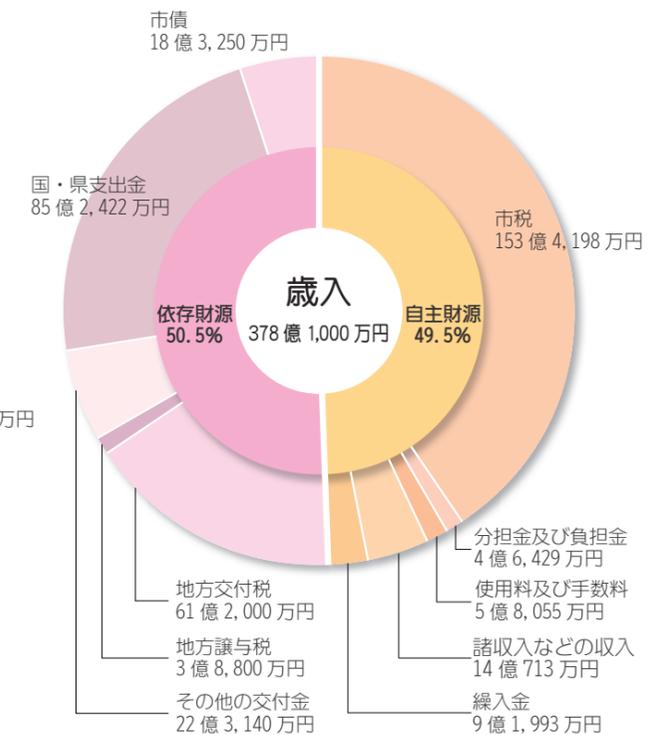
令和4年度 当初予算

総額 630億3,500万円 (前年度比 +1.4%)
一般会計 378億1,000万円 (前年度比 +2.6%)
特別会計 252億2,500万円 (前年度比 -0.4%)

一般会計歳出の内訳



一般会計歳入の内訳



一般会計の総額は、歳入・歳出それぞれ378億1千万円で、令和3年度と比べ、9億6千万円(2.6%増)の増額予算となりました。これは、住民税非課税世帯等臨時特別給付事業などコロナ対策による財政需要が増えたことなどによるものです。歳入予算の財源割合は、自主財源(市税など)が自主的に収入できる財源が49.5%、依存財源(国や県が定める補助金など)が50.5%となり、市税の増収見込みが影響して、自主財源の割合は令和3年度と比べ2.0%高くなっています。

新型コロナウイルス感染症対策のための各種事業に加え、少子高齢化社会への対応や近年頻発する大規模災害を想定した防災・減災対策、そして子育て環境の充実、さらに地域産業の活性化など、さまざまな事業をバランスよく予算化するとともに、DXや脱炭素など新しい社会変容に対応した事業を盛り込んだ予算としました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と地域経済活性化の両立を図りながら、あつたかしこちゅ〜プロジェクトの各種事業を実施し、一人でも多くの人を笑顔にできるまちを目指します。

当初予算編成方針

